



雑司が谷旧宣教師館だより

第28号
2003年5月15日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎/FAX(03)3985-4081

平成15年雑司が谷旧宣教師館事業予定

平成15年度の事業内容が決まりましたのでお知らせします。おばあちゃんのおはなし会は、毎月第1土曜日の午後2時から3時に行っています。童話雑誌『赤い鳥』の時代の童話が中心です。

事業名及び内容	日時	場所	その他
語り伝えたい童話第3回 おばあちゃんのおはなし会 ○小川未明作『赤いろうそくと人魚』 ○小山内薫作『正直もの』他 お話：小森香子さん（詩人）	6月7日（土） （毎月第一土曜日） 2時～3時	赤い鳥 コナ 本館 1階	・無料 ・申込不要 ・当日、直接雑司が谷宣教師館本館、「赤い鳥コナ」へ ・おはなしの内容は、館内掲示や区内図書館にてポスター、チラシでご案内します。
ブルーベリーを味わい 苗木を育てよう （ブルーベリー摘みと苗木の植付け教室） 講師：豊島区公園緑地課職員	7月25日（金） 10時～12時	中庭 研修室	・広報としま7/5日号掲載予定 ・有料（苗代他）、定員15名 ・往復葉書申込（応募者多数の場合抽選）（7/15必着） ・豊島区在住・在勤者
地域史講座 「歴史的建造物を写す」 （全2回）			
9月7日（日）	10時30分～12時	「日本の西洋館」 その魅力と写し方	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">参加者準備物</div> <ul style="list-style-type: none"> ◆カメラ（一眼レフまたはコンパクトカメラ ※デジカメ不可） ◆フィルム（35ミリカラーポジ） ◆三脚 <p style="text-align: center;">（現像代等材料費は自己負担）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">申込方法等</div> <ul style="list-style-type: none"> ・広報としま8/5日号掲載予定 ・募集人員 … 15名 ・参加費 … 2,000円（予定） ・往復葉書申込（応募者多数の場合抽選）8月20日（水）必着 <li style="text-align: right;">※ 雨天決行
①歴史的建造物 その魅力と写し方 ②撮影会 講師：増田彰久氏 （建築写真家）	1時30分～3時	撮影会 （本館・中庭）	
9月14日（日）	10時30分～12時	「保存と活用」 講演：山口廣氏	
③雑司が谷旧宣教師館の 保存と活用 講師：山口廣氏 （日本大学名誉教授） ④写真講評 山口廣氏 増田彰久氏	1時30分～3時	写真講評会 7日の撮影作品	

事業名及び内容	日時	場所	その他
「豊島の歴史的建造物めぐり」 明日館 ～ 鬼子母神 ～ 旧宣教師館をめぐるウォークラリー (立教大学か日本女子大成瀬記念館のどちらかをコースに入れる予定) (東京文化財ウィーク参加)	11月8日(土) 及び 11月9日(日) 9時～3時	旧雑司 が谷村 界隈	・広報としまに掲載します。 ・東京文化財ウィークのガイドマップ及びプログラムに掲載 (都内の郷土資料館や図書館等で10月頃に配付予定) ※東京文化財ウィークは毎年、11月3日から第2日曜日迄 ・申込不要 ・参加費…1000円
人気の春のフィールドワーク 「雑司が谷を歩くⅢ」 旧宣教師館から霊園をとおり法明寺の桜を鑑賞しながら雑司が谷のいま昔を訪ねます。 講師：多 兎 貞 子さん	平成16年3月 日曜か土曜に実施 (日は未定) 9時30分～12時30分 旧宣教師館で説明の後フィールドワーク	旧雑司 が谷村 界隈	・広報としま3月5日号掲載 ・定員20名 ・参加費…1000円 ・申込は電話による先着順 ・申込受付…未定 ・日時が決まり次第館内に掲示

第14回花のガーデンコンサート (5/11) 出演者より一言

花のガーデンコンサートは、毎年、母の日に行われます。地域紙『わがまち雑司が谷』の主催で中庭が会場となります。

今年は地元、東京音楽大学学生の本管三重奏の演奏から始まりました。フルートの宮崎千佳さんオーボエの海上なぎささん、ファゴットの児玉真弓さんによるヴィヴァルティ作曲の室内協奏曲やシャーマン作曲のチムチムチェリーなど5曲。

次に、小学1年から大学2年まで10人の、朗読文化研究所こども朗読会員による詩の朗読です。

女性コーラスもあり、地域の高齢者センターの自主グループ、コーロ・ハーモニーの総勢24名のみなさんによる、島唄や思い出など素晴らしいコーラスが披露されました。

最後は、東京芸術大学の5人の学生による「フィガロの結婚」や「愛の妙薬」の中のアリア、そして「花」など日本歌曲をメドレーで歌っていただきました。第1回目より、先輩から後輩へとずっと出演を引き継いでくださっています。今年の歌姫たちに感想を聞いてみました。

【菅原章代さん】(メゾソプラノ)

今年で4回目となりました。4回も出させてただけで、とても嬉しい思いでいっぱいです。みなさまがこの街そして宣教師館

の建物、お庭、すべてを愛してらっしゃる心が伝わってきます。♡ すべて大切にしたいです。ありがとうございました。

【永崎京子さん】(ソプラノ)

花でいっぱいのガーデンコンサートへの出演いつも楽しみにしています。今年も楽しませていただきました。

【久保田翠さん】(ピアノ)

「外でピアノを弾いてみたい!」と思っていました。夢がかなってうれしいです。宣教師館の建物がとても素敵でした。今度ゆっくりとこの辺りを歩いてみたいです。

【小林実佐子さん】(ソプラノ)

皆さんの暖かさに支えられて歌うことができました。宣教師館と地域の方の交流が益々たくさんになりますようお祈りいたします。

5人の先輩の中島郁子さんが、中学3年生の時に子供オペラコーラス団の「にんげんをたべそこねた熊」で第一回のガーデンコンサートに出演以来14年間、素晴らしい歌声が五月の庭に響きわたり続けています。

【編集後記】年間予定を優先し、28号掲載予定の雑司ヶ谷霊園特集②は29号(6月発行)としましたことをお詫びいたします。(文責 浜地)